

『創造的自己改革への実践』

J A南彩自己改革 令和元年度上半期の進捗状況について

J A南彩では『創造的自己改革への実践～組合員とともに農業・地域の未来を拓く～』をメインテーマとし、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」へのさらなる挑戦、「地域の活性化」への貢献、組合員への「アクティブ・メンバーシップ」の確立をめざして取り組んでいるところです。

自己改革の取組みを着実に実行させるため自己改革進捗状況表を策定しましたので、令和元年度上半期の進捗状況をご報告いたします。

長期ビジョン	<ul style="list-style-type: none"> ○地域農業戦略の見直し・実践により農業所得の向上に努めます。 ○組合員・地域住民の暮らしを守るため、総合力を発揮して各種事業活動を通じて総合的な支援を行います。 ○総合事業性を発揮するため、J A経営健全性の確立に努めます。
--------	--

●農業者の所得増大・農業生産の拡大への挑戦

重点施策（主な取組み）	昨年度までの実施状況	具体的な行動・目標				担当部署
		令和元年度		令和2年度	令和3年度	
		目標	上期末の取組み状況			
①担い手・新規就農者支援 J A南彩独自の助成事業（J A南彩農業振興支援事業 農業振興目的積立金9,200万円）	<ul style="list-style-type: none"> ・新規就農者支援事業 ・農業生産拡大支援事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・新規就農者支援事業 ・農業生産拡大支援事業 ・生産施設整備支援事業 	事前申請受付中	<ul style="list-style-type: none"> ・新規就農者支援事業 ・農業生産拡大支援事業 ・生産施設整備支援事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・新規就農者支援事業 ・農業生産拡大支援事業 ・生産施設整備支援事業 	営農支援課
<ul style="list-style-type: none"> ・新規就農者支援事業 ・農業生産拡大支援事業 ・生産施設整備支援事業（助成金総額900万円） 	助成金総額800万円を支援しました。	助成金総額900万円	<ul style="list-style-type: none"> ・新規就農者支援事業 7件193万 ・農業生産拡大支援事業15件272万 ・生産施設整備支援事業3件47万 	助成金総額900万円	助成金総額900万円	
②担い手経営体への労働力確保対策（無料職業紹介事業） ・無料職業紹介所・J A南彩あぐりサポート ・J Aグループさいたま求人広告サービス「第一産業ネット」	<ul style="list-style-type: none"> ・求人・求職者募集 ・求人掲載申込募集 	<ul style="list-style-type: none"> ・求人・求職者募集 ・求人掲載申込募集 	<ul style="list-style-type: none"> ・求人・求職者募集中 ・求人掲載申込募集中 	<ul style="list-style-type: none"> ・求人・求職者募集 ・求人掲載申込募集 	<ul style="list-style-type: none"> ・求人・求職者募集 ・求人掲載申込募集 	営農支援課
J A南彩あぐりサポート 求人登録30件・求職登録25人	<ul style="list-style-type: none"> ・J A南彩あぐりサポート（平成29年9月開設） ・求人登録15件 求職登録10人 採用2人 ・J Aグループさいたま求人広告サイト「第一産業ネット」 求人掲載 9件・求職応募72人・採用11人 	J A南彩あぐりサポート 求人登録20件・求職登録15人	<ul style="list-style-type: none"> ・J A南彩あぐりサポート 求人登録16件・求職登録13人 ・採用4人 ・「第一産業ネット」 求人掲載10件・求職応募90人 ・採用24人 	J A南彩あぐりサポート 求人登録25件・求職登録20人	J A南彩あぐりサポート 求人登録30件・求職登録25人	
③マーケットインに基づく販売事業方式への転換	新規作物提案・作付拡大	新規作物提案・作付拡大	新規作物・作付拡大の提案や栽培指導に取組みました。	新規作物提案・作付拡大	新規作物提案・作付拡大	営農支援課 生産販売課
<ul style="list-style-type: none"> ・かぼちゃ（ほっとけ栗たん）栽培120 a ・青パパイヤ栽培2,200本 ・カラフル人参栽培100 a ・加工業務用野菜契約栽培330 a 	<ul style="list-style-type: none"> ・かぼちゃ（ほっとけ栗たん）栽培60 a ・青パパイヤ栽培1,560本 研究会設立96人 ・カラフル人参栽培40 a ・加工業務用野菜契約栽培207 a 	<ul style="list-style-type: none"> ・かぼちゃ（ほっとけ栗たん）栽培80 a ・青パパイヤ栽培1,500本 ・カラフル人参栽培60 a ・加工業務用野菜契約栽培250 a 	<ul style="list-style-type: none"> ・かぼちゃ（ほっとけ栗たん）栽培80 a 見込み ・青パパイヤ栽培1,400本 ・カラフル人参栽培80 a ・加工業務用野菜契約栽培100 a 	<ul style="list-style-type: none"> ・かぼちゃ（ほっとけ栗たん）栽培100 a ・青パパイヤ栽培1,800本 ・カラフル人参栽培80 a ・加工業務用野菜契約栽培290 a 	<ul style="list-style-type: none"> ・かぼちゃ（ほっとけ栗たん）栽培120 a ・青パパイヤ栽培2,200本 ・カラフル人参栽培100 a ・加工業務用野菜契約栽培330 a 	
④消費者との信頼を築く食の安全確保対策の実践	研修会の開催や各生産者へ提案の取組みを実施	研修会の開催や各生産者へ提案の取組みを実施	各生産者へ提案し取組みの支援を行いました。	各生産者へ提案の取組みを実施	各生産者へ提案の取組みを実施	営農支援課 生産販売課
(S-GAP認証取得者24件)	<ul style="list-style-type: none"> ・提案件数155件 ・認証申請中5件 ・認証取得3件 	認証取得者8件	認証取得者2件 提案・申請支援中8件	認証取得者16件	認証取得者24件	
⑤事業承継の支援に取組み	組合員の経営全体の承継を総合的にサポートする支援・相談体制を構築します。	事業承継の支援に取組み	事業承継の提案や支援に取組みました	事業承継の支援に取組み	事業承継の支援に取組み	営農支援課
事業承継取組み16件	支援に取組み中	事業承継取組み4件	事業承継提案中8件 事業承継開始2件	事業承継取組み10件	事業承継取組み16件	

⑥ア. 取引条件に応じた弾力的な価格設定 (肥料53品目・農薬35品目、DB等)	<ul style="list-style-type: none"> ・茎葉除草剤大型規格キャンペーンの取組み ・大口購入、自己取り奨励値引きの取組み ・化成肥料・水稲箱施用剤の低価格キャンペーンの取組み 	<ul style="list-style-type: none"> ・茎葉除草剤大型規格キャンペーン (6～9月) ・担い手直送規格農薬の取扱い ・農家いきいきキャンペーンの取組み 	<ul style="list-style-type: none"> ・茎葉除草剤大型規格キャンペーン (6～8月) 取扱実績396本 	<ul style="list-style-type: none"> ・茎葉除草剤大型規格キャンペーン (6～9月) ・担い手直送規格農薬の取扱い ・農家いきいきキャンペーンの取組み 	<ul style="list-style-type: none"> ・茎葉除草剤大型規格キャンペーン (6～9月) ・担い手直送規格農薬の取扱い ・農家いきいきキャンペーンの取組み 	経済課
評価指標	<ul style="list-style-type: none"> ・肥料43品目、農薬43品目に対し弾力的な価格の設定実施 ・担い手直送規格 551ha 	<ul style="list-style-type: none"> ・肥料45品目、農薬30品目 ・担い手直送規格 600ha 	<ul style="list-style-type: none"> ・肥料42品目、農薬17品目 	<ul style="list-style-type: none"> ・肥料50品目、農薬32品目 ・担い手直送規格 650ha 	<ul style="list-style-type: none"> ・肥料53品目、農薬35品目 ・担い手直送規格 700ha 	

重点施策（主な取組み）	具体的な行動・目標					担当部署
	昨年度までの実施状況	令和元年度		令和2年度	令和3年度	
		目標	上期末の取組み状況			
イ. PB肥料等の銘柄集約によるコスト引下げ	・高度化成肥料（14-14-14）等の銘柄集約の取組み	・引き続き高度化成等の集約銘柄の取扱いを実施 ・新たに水稲用ペースト肥料の銘柄集約の取組み	・引き続き高度化成等の集約銘柄の取扱いを実施 ・新たに水稲用ペースト肥料の銘柄集約の取組みについては対象品目が当JAは取扱対象外の状況	・引き続き高度化成等の集約銘柄の取扱いを実施 ・新たに水稲用ペースト肥料の銘柄集約の取組み	・引き続き高度化成等の集約銘柄の取扱いを実施 ・新たに水稲用ペースト肥料の銘柄集約の取組み	経済課
評価指標	・3銘柄 15,186袋の取扱い	・4銘柄 16,500袋の取扱い	・現時点では1銘柄で2,400袋	・4銘柄 17,000袋の取扱い（3% up）	・4銘柄 17,500袋の取扱い（3% up）	
⑦直売所における生産者の高齢化に伴う農産物の集荷対策	・現状は対応はしていない	・直売所の整備等も含め、生産者の高齢化による出荷減少を防ぐため、集荷対策を検討・実施をはかる	・蓮田、白岡直売所の閉店により11/1より実施予定	生産者の高齢化による出荷減少を防ぐため、集荷対策を検討・実施をはかる	生産者の高齢化による出荷減少を防ぐため、集荷対策を検討・実施をはかる	直販事業課
	・新規対策	・適宜対応	・ただし、集荷について車両を営業用に変更する必要があることが判明	・適宜対応	・適宜対応	

●「地域の活性化」への貢献

重点施策（主な取組み）	具体的な行動・目標					担当部署
	昨年度までの実施状況	令和元年度		令和2年度	令和3年度	
		目標	上期末の取組み状況			
①組合員ふれあい活動の展開（全支店実施）	・効果が見えにくい ・企画がマンネリ化している	・ふれあい活動委員会での効果検証と次年度の企画検討	・各管内でふれあい活動委員会を開催し、令和元年度の企画を計画	・ふれあい活動委員会での効果検証と次年度の企画検討	・ふれあい活動委員会での効果検証と次年度の企画検討	総合企画課
全支店実施	平成30年度は管内合同、支店単独を含めて全支店で実施（実施回数43回）	各支店の地域性を踏まえて実施	・各管内合同、支店単独を含めてふれあい活動を実施	各支店の地域性を踏まえて実施	各支店の地域性を踏まえて実施	
②認知症施策に対するJAの支援体制の構築	・女性部による活動やイベントが多かったため、スケジュール調整に苦労した	・認知症サポーター養成講座の開催 ・ミニデイサービスの開催 ・健康教室の開催	・認知症サポーター養成講座の開催 ・ミニデイサービスの開催	・認知症サポーター養成講座の開催 ・ミニデイサービスの開催 ・健康教室の開催	・認知症サポーター養成講座の開催 ・ミニデイサービスの開催 ・健康教室の開催	営農支援課
認知症サポーター養成講座、ミニデイサービス、健康教室の開催（女性部と連携し、3年間で全支部実施）	認知症サポーター養成講座、ミニデイサービス全支部実施	各項目を7支部中3支部実施	・認知症サポーター養成講座の開催 久喜支部 6月21日 ・ミニデイサービスの開催 白岡支部 6月10日 久喜支部 9月13日	各項目を7支部中5支部実施	各項目を7支部中7支部実施	